

スイス EPFL 4 年生が医学部を訪問

2010 年 7 月 15 日 (木)、École Polytechnique Fédérale de Lausanne (以下 EPFL) より、夏休みの海外研修プログラムで日本を訪問中の 4 年生 32 名と引率教員 1 名が、慶應義塾大学医学部 (末松誠学部長) を訪問しました。JR に乗って信濃町キャンパスに到着した一行を迎え、半日の交流プログラムが開催されました。

末松学部長による学部紹介のあと、4 月から漢方医学センターに滞在中のオーストリア Medical University of Graz の短期留学生がプレゼンテーションを行い、慶應での充実した研修内容や、初めて訪れた日本で受けた感動やカルチャーショックなどについて語りました。

その後 2 グループに分かれ、医学部が推進している 2 つのグローバル COE プログラム* について、研究者によるレクチャーを受け、実際に研究施設を見学しました。続いて、キャンパスツアーでは、メディアセンター、病院、臨床シミュレーションラボを見学しました。

プログラムの最後に用意されたランチパーティでは、同世代の医学部生、看護学部生や、大学院生、研究者と交流を深めました。本プログラムは、国際化拠点整備事業 (グローバル 30) の援助を受けて開催されたものです。医学部の推進する国際交流の一例として、非常に有意義なイベントとなりました。

EPFL は、1853 年に創立された工学系の単科大学、スイス連邦工科大学のローザンヌ校で、エンジニアリング、テクノロジー、コンピュータサイエンス分野において世界でもっとも優秀な大学のひとつです。

*グローバル COE プログラム

『In vivo ヒト代謝システム生物学拠点』 <http://www.gcoe-metabo.keio.ac.jp/index.html>

『幹細胞のための教育研究拠点』 <http://www.gcoe-stemcell.keio.ac.jp/>



集合写真



臨床シミュレーションラボ



研究設備を見学



ランチパーティでの交流